

じている。

表4-2-3 文化財の指定状況

(単位：件)

区分 地域	国 指 定										県 指 定							市 町 村 指 定				合 計				
	宝	重 要 文 化 財	重 要 有 形 民 俗 文 化 財	重 用 無 形 民 俗 文 化 財	特 別 天 然 記 念 物	史 跡	名 勝	史 跡 ・ 名 勝	天 然 記 念 物	重 要 伝 統 的 建 造 物 群 区	保 存 地 計	重 要 文 化 財	重 要 無 形 文 化 財	重 要 有 形 民 俗 文 化 財	重 要 無 形 民 俗 文 化 財	史 跡	史 跡 ・ 名 勝	名 勝 ・ 天 念 記 念 物	天 念 記 念 物	小 計	有 形 文 化 財		無 形 文 化 財	民 俗 文 化 財	記 念 物	小 計
北 北	0	5	0	1	0	5	0	1	4	0	16	25	0	3	8	5	1	3	4	49	92	0	43	104	239	304
中 中	0	8	0	0	0	5	1	0	5	0	19	37	0	5	4	8	0	1	16	71	138	0	75	109	322	412
南 南	0	4	0	0	0	2	0	1	0	0	7	15	0	2	4	5	0	0	7	33	53	0	17	41	111	151
会 津	1	42	2	0	0	5	1	0	8	0	59	56	0	4	3	6	0	0	6	75	186	1	47	111	345	479
南 会 津	0	3	3	1	1	0	0	0	2	1	11	13	0	3	1	1	0	0	3	21	38	0	15	13	66	98
相 双	0	3	0	1	0	7	0	0	1	0	12	16	0	4	4	8	0	0	7	39	68	0	24	81	173	224
い わ き	1	12	0	1	0	3	0	0	4	0	21	31	0	2	1	4	0	0	7	45	46	2	3	11	62	128
全 域	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	2	77	5	4	2	27	2	2	24	1	146	193	0	23	25	37	1	4	50	333	621	3	224	470	1,318	1,797

注：1. 「文化課調査」(昭58)による。

2. 国・県指定は昭和59年3月31日現在、市町村指定は昭和58年5月1日現在である。

したがって、今後は、文化財の保存を図るため、指定の遅れている分野の指定を推進する必要がある。特に、民俗文化財の指定を推進する必要がある。

(3) 埋蔵文化財の保存

埋蔵文化財の包蔵地は県内各地域に分布しているが、その存在を完全に把握することは難しく、そのために、遺跡台帳の整備や遺跡地図の作成、あるいは遺跡詳細分布調査等の事業を実施し、遺跡の確認と周知に努めている。

昭和59年度調査による遺跡数は8,055か所であり、昭和51年度調査と比べ4,037か所増加している(表4-2-4)。種類別では、城館跡や古墳・墳墓が多い(表4-2-5)。

県及び市町村は、役割分担を定め、埋蔵文化財の保存に努めているが、地域開発の進展とともに、保存の難しさが増しつつある。

表4-2-4 地域別遺跡数

(単位：か所)

年度	北 北	中 中	南 南	会 津	南 会 津	相 双	い わ き	計
51	779	1,379	386	411	72	619	372	4,018
55	1,180	2,109	824	740	126	806	502	6,287
59	1,811	2,739	858	794	166	877	810	8,055

注：「文化課調査」(昭59)による。

表4-2-5 種類別遺跡数

(単位：か所)

区 分	官衙跡	城館跡	社寺跡	古墳 墳墓	塚	貝塚	窯跡	製鉄跡	石造物	散布地 その他	計
遺跡数	5	1,042	266	912	204	39	72	134	554	4,827	8,055

注：「文化課調査」(昭59)による。